

## 「文化財防火デー」



迅速に行われた消火活動

文化財防火デーの取り組みとして消防総合訓練が1月22日、胆沢区の於呂閑志神社で行われました。

当日は消防署や市消防団のほか、神社の氏子ら約100人が参加。社務所からの出火を想定した消火活動のほか、通報や初期消火、文化財搬出訓練が行われました。氏子総代長の佐藤栄さんは「初めての訓練で全てが勉強になった。お宮を次世代へ引き継ぐのが私たちの務め」と気を引き締めていました。

## 「スポーツの功績をたたえて」



教育委員長から表彰を受ける受賞者

市教育委員会スポーツ表彰・市体育協会表彰式は1月14日、水沢区内のホテルで行われました。表彰されたのは、昨年好成績を収めた選手やスポーツ振興に寄与した指導者、役員など90人、12団体です。千葉啓一教育委員長が「関係者と選手の力が相まって発展することを期待する」とあいさつ。受賞者はさらなる活躍を決意していました。

## 「ひめかゆ温泉が20周年」



今後の発展にむけて決意を述べる小沢市長

焼石クアパークひめかゆ20周年記念式典が1月23日、同施設で行われ、関係者や株主ら約60人が出席しその発展を祝いました。式典では、監査役を13年務めた五嶋新二さんに感謝状を贈呈し、永年勤続者8人を表彰。代表取締役の小沢昌記市長は「全国からファンが集まる温泉を目指す」と決意を新たにあいさつしました。

## 「消防出初式」



統率された団員らの分列行進

市消防団（千葉昭道団長、団員1848人）の出初式が1月9日、市文化会館などを会場に行われました。寒空の下、団員1347人、婦人消防協力会員99人、消防車両36台が分列行進。沿道の住民らは、統率の取れた行進に見入っていました。水沢纏組、江刺纏隊による纏振りで士気を鼓舞し、式典が開始。東日本大震災で犠牲となった沿岸部の消防団関係者に対して黙とうを捧げ、安全で安心なまちの維持を誓いました。

## 「事故の根絶願い交通指導隊初点検」



小沢市長の点検を受ける交通指導隊員

市交通指導隊（小原里司隊長、隊員95人）の初点検が1月6日、市役所で行われ、交通事故の根絶に向けて決意を新たにしました。指導隊員のほか警察署や関係団体の代表が出席。勤続25年をたたえ、小原隊長に精勤者感謝状が贈られたほか、整列した隊員89人を小沢昌記市長らが巡り、服装や手帳の点検を行いました。

## 「キャリア教育優良学校表彰を受賞」



地域の協力があったこそと語る両校長（中・右）

23年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受けた藤里小学校（伊藤誠校長）と江刺南中学校（平澤和志校長）が1月31日、佐藤孝守教育長へ受賞を報告しました。職場訪問や職業体験、講話などを行ってきた両校。受賞は、地域住民や職員を本に、あいさつなど生活の基礎から社会性を育む姿勢が高く評価されたものです。

## 「おめでとー！百歳を祝い5人に記念品」

市は1月に満百歳を迎えた5人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

千田ヨシノさんⅡ胆沢区南都田字加賀谷地Ⅱは水沢区佐倉河に生まれ、15歳で故・三太夫さんと結婚。4男3女をもうけ、孫19人、ひ孫22人、玄孫1人に恵まれました。裁縫や編み物が得意で、働き者だったヨシノさん。辛いときでも「今日は良しとしなければ」と、いつも前向きだったそうです。

千葉ナミさんⅡ水沢区東中通り二丁目Ⅱは水沢区佐倉河



お孫さんから花束を受け取るヨシノさん



記念品のミニたんすを受け取るナミさん

に生まれ、22歳で故・孝雄さんと結婚。1男2女をもうけ、孫6人、ひ孫4人に恵まれました。孝雄さんの戦死後、農業で子どもを育てました。日記を毎日書いており、俳句が得意で本を出したことも。「皆さんのおかげで幸せです」と感謝を述べていました。朝日田ユキさんⅡ水沢区羽田町駅南一丁目Ⅱは江刺区田原に生まれ、17歳で故・義臣さんと結婚。4男3女をもうけ、孫18人、ひ孫20人、玄孫5人に恵まれました。義臣さんと精米業に励んだそうです。

おもちゃが好物というユキさんは、俊足の持ち主。老人クラブの県大会にも出場しました。富澤スミさんⅡ水沢区字見分森Ⅱは胆沢区南都田に生まれ、16歳で故・重夫さんと結婚。2女をもうけ、孫3人、ひ孫6人に恵まれました。重夫さんと雑貨商を営み、友人を家に招いてお茶飲みをするのが楽しみでした。穏やかな人柄できれいなスミさん。いつも身の回りを整理整頓しています。

菊池フクエさんⅡ江刺区稲瀬字天竺老婆Ⅱは同区米里に生まれ、25歳で故・周右エ門さんと結婚。5男をもうけ、



家族の前でにっこりほほ笑むユキさん



家族からの花束に感激するスミさん



記念品を家族と共に受け取るフクエさん